

完成5年後に絵画に描かれた吾妻橋

画・小松崎茂、出典：『小松崎茂 昭和の東京』筑摩書房

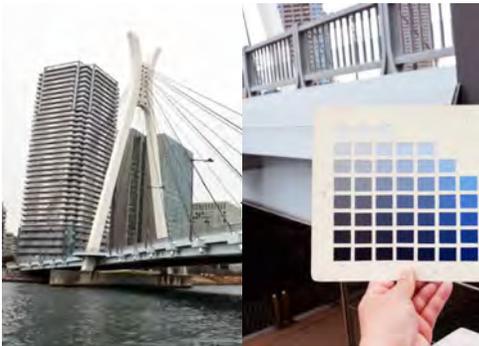


吾妻橋（墨田区側）より浅草方面を望む

現在の吾妻橋

撮影・吉田慎悟

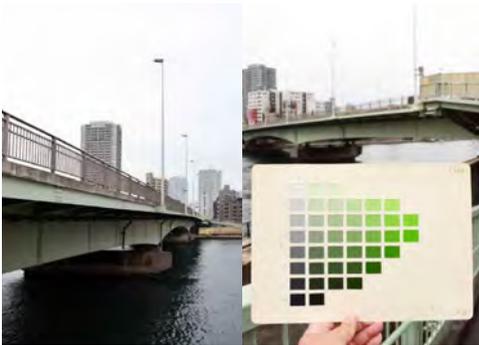




⑫中央大橋

マンセル値：
5PB 8.0/1.0
N9.0・N6.0 (手摺)

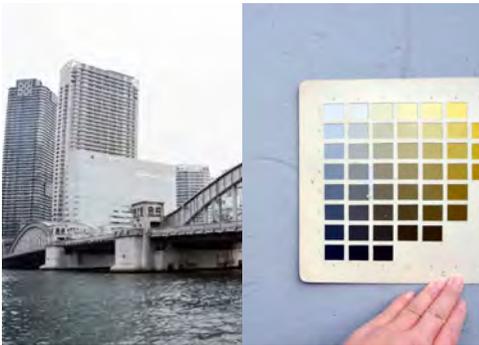
構造形式：二径間連続鋼斜張橋
橋長：210.7m
幅員：25.0m
竣工：1993年
橋桁製作：石川島播磨重工業横浜工場



⑬佃大橋

マンセル値：
7.5GY 6.5/2.0

構造形式：主桁3径間連続鋼床版箱桁橋
工法：大ブロック一括架設工法
橋長：476.3m
幅員：25.2m
竣工：1964年
施工主体：東京都
橋桁製作：石川島播磨重工業佃島工場



⑭勝鬨橋

マンセル値：
N7.0・シルバー
N7.5 (手摺)

構造形式：可動部・シカゴ型双葉跳開橋 / 固定部・鋼ソリッドリブブライドアーチ橋
橋長：246m 幅員：22m
竣工：1940年
事業主体：東京市
橋桁製作：月島側アーチ橋・石川島造船所 / 築地側アーチ橋・横河橋梁製作所

■測色実施日

2014.2.1/11

■測色方法

JIS標準色票を用いた視感測色

■測色対象橋

- ① 白髭橋
- ② 桜橋
- ③ 言問橋
- ④ 吾妻橋
- ⑤ 駒形橋
- ⑥ 厩橋
- ⑦ 蔵前橋
- ⑧ 両国橋
- ⑨ 新大橋
- ⑩ 清洲橋
- ⑪ 永代橋
- ⑫ 中央大橋
- ⑬ 佃大橋
- ⑭ 勝鬨橋



■色の表示について

測色にはJIS（日本工業規格）色見本帳を用いた。

・マンセル表色系

色を定量的に表す体系である表色系の1つ。色彩を色の三属性(色相、明度、彩度)によって表現する。

●色相(色み)の基本は10色相

色みの違いを色相(しきそう)として表す。色相は円周方向に10の色相に分割されている。各色相の代表色は5の位置で、この5を規準に2.5・5・7.5・10の40色相で構成されている。色相はR(赤)、YR(黄赤)、Y(黄)、GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)の10色相の頭文字と、その変化を表わす0から10までの数字を組み合わせて用いる。

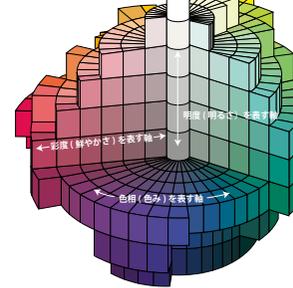
●明度(明るさ)は10段階

色彩の明るさの度合いを明度(めいど)として表わす。0から10までの数字を用い明るい色彩ほど数値が大きくなる。無彩色はN5.5(えぬごーてんご)などのように、ニュートラルの意味を表わすNと明るさの度合いにより色彩を表わす。

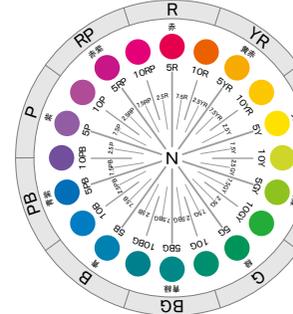
●彩度(鮮やかさ)の幅は色相により異なる

色彩の鮮やかさの度合いを彩度(さいど)として表わす。鮮やかな色彩ほど数値が大きくなるが、最高彩度の数値は色相によって異なる。

マンセル色立体



マンセル色相環



色相 明度 彩度
5B 4.0 / 3.0
ごひー よんてんぜろ の さんてんぜろ

マンセル値の表記と読み方→

■NPO法人GSデザイン会議

GSデザイン会議は、来るべき時代の総合的な空間デザインをより広範に実現するための基盤となるプロ集団、強力で密な分野協働型の専門家ネットワークを目指すものです。

(代表：篠原修・内藤廣)

・GSデザイン会議の活動

- ①デザインチームによるプロジェクト実績の蓄積とアピール
- ②望ましいデザイン体制モデルの提示
- ③人材の発掘・育成とネットワークづくり
- ④まちづくり支援と実践への還元

詳しくは→



■GS素材色彩分科会とは…

GS素材色彩分科会は2013年6月、NPO法人GSデザイン会議内に発足した自主研究・勉強会です。環境を取り巻く素材・色彩に関する研究活動を行っています。 gsozoaishikisai@gmail.com (担当：加藤幸枝)

GSデザイン会議(素材色彩分科会)編

まちの色を測る

Vol.1 隅田川の橋梁



2014年2月22日(土)

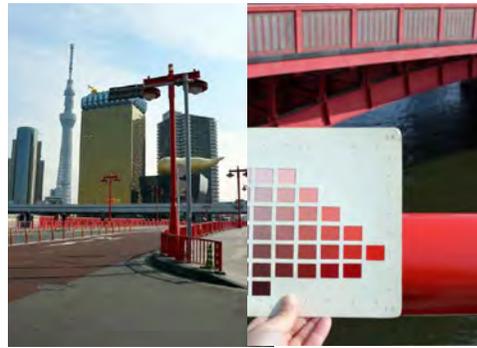
都市デザイン交流会フォーラム2014

隅田川の景観・歴史的橋梁の文化的価値を考える

【まちの色を測る —隅田川の橋梁の色】

色には表色系（ひょうしょくけい）という『ものさし』があります。印象や曖昧な記憶に左右されがちな色を客観的な数値で表記したり記録したりすることは、個々の差違や固有性の比較・検証など、様々な分野で役立てられています。

隅田川は東京を代表する景観の一つです。東京のまちは時代と共に移り変わりますが、橋梁の寿命は長く、記憶の中でより印象に残るものなのではないでしょうか。今回のフォーラムに合わせ特徴ある橋梁の色を記録しました。10年、20年…と記録を更新して行きたいと思います。 ※測色方法と色のものさし（マンセル表色系）については裏ページをご参照下さい。



④ 吾妻橋

マンセル値：
5R 4.0/9.0 (旧)
5R 4.0/12.0 (新)

構造：3径間鋼ソリッドリブ
タイドアーチ橋
橋長：150.0m
幅員：20.0m
竣工：1931年
施工主体：東京市



⑧ 両国橋

マンセル値：
5YR 4.0/0.5
N 4.5 (手摺)
5YR 3.0/2.0 (照明柱)

構造：3径間ゲルバー式
鋼桁橋
橋長：164.5m
幅員：24.0m
竣工：1932年
施工主体：東京市
施工：石川島造船所 / 間組



① 白髭橋

マンセル値：
N7.0
5BG 6.5/1.0 (手摺)
2.5BG 3.0/2.0 (手摺)

構造：下路式ブレースドリブ
ドタイドアーチ橋
橋長：168.8m
幅員：22.1m
竣工：1931年
橋梁設計：増田淳
橋桁製作：川崎造船所



⑤ 駒形橋

マンセル値：
10B 5.0/6.0
10B 6.0/4.0 (退色部分)

構造：
中央径間・中路上式ソリッドリ
ブタイドアーチ橋 / 側径間・
上路上式ソリッドリブアーチ橋
橋長：149.6m 幅員：22.0m
竣工：1927年
施工主体：東京市復興局
橋梁設計：岩切良助
橋桁制作：汽車製造



⑨ 新大橋

マンセル値：
5YR 6.5/14.0
2.5Y 8.7/1.5 (桁)

構造：2径間連続斜張橋
橋長：170.0m
幅員：24.0m
竣工：1977年
施工主体：東京都
設計：中央技術コンサル
タツツ
施工：石川島播磨重工業



② 桜橋

マンセル値：
2.5Y 6.5/7.0
10YR 3.0/1.5 (手摺)

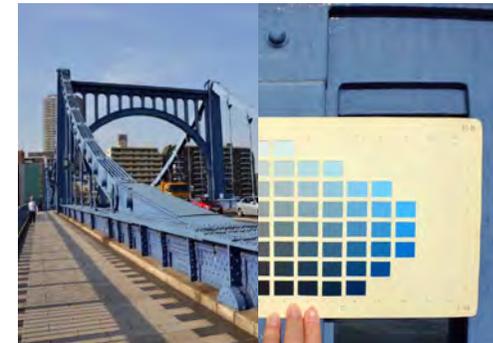
構造：連続鋼X形曲線箱桁橋
(連続曲線鋼箱桁)
橋長：169.45m
幅員：中央部 /20m・側径間
/6m
竣工：1985年



⑥ 厩橋

マンセル値：
7.5GY 5.5/4 (橋脚)
5GY 7/1 (手摺)
5YR 4/3 (手摺)

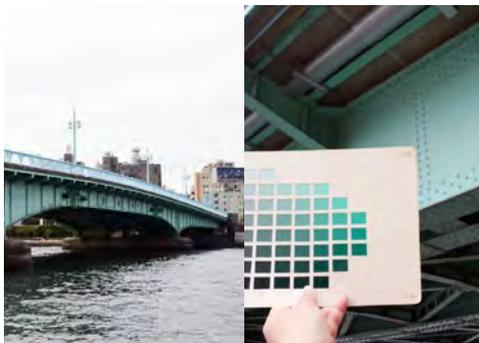
構造：3径間下路式タイドアー
チ橋
橋長：151.4m
幅員：22.0m
竣工：昭和4年9月
施工主体：東京市復興局
設計：東京市土木局
橋桁制作：浅野造船所



⑩ 清洲橋

マンセル値：
10B 4/3 (退色部分)
2.5PB 4/3

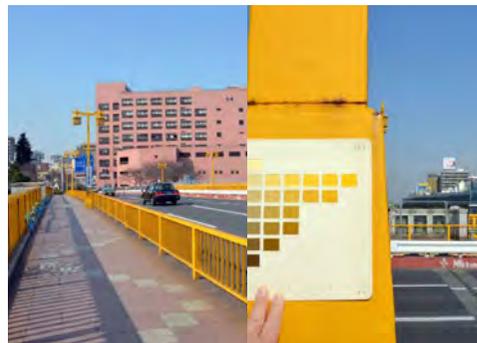
構造：自碇式鋼鉄製吊り橋
橋長：186.3m
幅員：22.0m
竣工：1928年
施工主体：東京市復興局
設計：鈴木精一（意匠面は
山田守や山口文象が関与）
橋桁製作：神戸川崎造船
所



③ 言問橋

マンセル値：
10G 7.0/3.0
5B 7.0/3.0

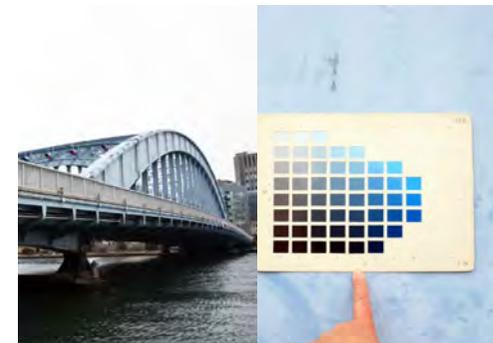
構造：三径間ゲルバー-鋼桁橋
橋長：238.7m
幅員：22.0m
竣工：1928年
施工主体：東京市復興局
橋桁製作：横河橋梁製作所



⑦ 蔵前橋

マンセル値：
2.5Y 7/12.0

形式：3径間連続上路上式ソリ
ッドリブ2ヒンジアーチ、お
よび上路上式コンクリート固
定アーチ
橋長：173.2m
幅員：22.0m
竣工：1927年
施工主体：東京市復興局
設計：井浦玄三
施工：石川島造船所



⑪ 永代橋

マンセル値：
10B 7.0/2.0
N 8.0 (手摺)

構造形式：中央径間・スチ
ールアーチ橋 / 両側・鋼桁橋
橋長：184.7m 幅員：25.0m
竣工：1926年
施工主体：東京市復興局
設計：田中豊原案・竹中
喜忠設計（意匠面は山田
守や山口文象が関与）
橋桁製作：神戸川崎造船
所

おわりに

「都市デザイン交流会フォーラム 2014・隅田川の景観・歴史的橋梁の文化的価値を考える」記録集がどうにかまとまりました。2月22日（土）の開催から概ね35日、ご登壇者の方々に、年度末のお忙しい中でのテープ起こし原稿への校正やPPT画像データ提供にご協力いただいたこと、そして編集スタッフおよび協力された方々の努力の賜物かと存じます。この記録集を共催いただいた6団体、後援いただいた関係機関に送付し、今後の色彩検討やさらなる都市景観の向上そして市民啓蒙等の面に活用していただくことをお願いします。

2014年3月

都市デザイン交流会フォーラム2014・隅田川の景観・歴史的橋梁文化価値を考える」

<記録集>編集事務局

編集責任者：中野恒明、吉田慎悟

開催事務局：栗原 裕、杉山朗子、中村和泉

テープ起こし：平山恵輔

YouTube 配信セット：中里 薫

会場運営：横山公一、飯田とわ

ポスターデザイン：永山哲也

カラーシュミレーション：(株) デジタルキアロ

連絡先：*****

都市環境デザイン会議 事務局

〒114-0012 東京都北区田端新町3-14-6 ノザキGビル

Tel. 03-6240-8827 Fax. 03-6240-8829

URL <http://www.judi.gr.jp>

E-mail : postmaster@judi.gr.jp
